

2010年3月19日

お取引先様 各位

ヤマハリビングテック株式会社
代表取締役 社長 森定保夫

ヤマハ(株)発表に関するご案内
(ヤマハリビングテック(株)の株式譲渡についてのお知らせ)

拝啓

早春の候、貴社いよいよご隆盛のこととお喜び申し上げます。毎々格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。平素はヤマハリビング商品のご採用を賜り心より厚く御礼申し上げます。

早速ではございますが、3/19 弊社株主であるヤマハ(株)より、当社株式の譲渡に関し日本産業パートナーズ(株)との間で契約締結に至った旨発表がございました。

本件は昨年 11/19 の交渉開始発表以降、ヤマハ(株)が日本産業パートナーズ(株)との間でヤマハリビングテック(株)の株式譲渡に関し具体的内容について交渉を行い、昨日までに譲渡契約が円満に成立した旨の発表でございます。

本株式譲渡以降もヤマハリビングテック(株)の社名及びブランドに変更はなく、今後もヤマハリビング商品の製造販売を通じ、多くのご利用者の皆様に「楽しい時間」と「健康で心豊かな生活」をお届けすべく尽力して参ります。お取引先様には今後とも何卒ご不安なく、ヤマハリビング商品のご拡販を賜りますようご案内を申し上げます。

現在当社を取り巻く環境は、昨年の新築着工戸数の大幅な減少に表されるように依然として厳しさが続いており、リフォーム需要においても景気の減速停滞により伸びを欠く状況となっております。

しかしながら社会経済政策、世帯動向や住宅ストック市場の動向等の観点からは市況の急激な好転は難しいと思われるものの、過去大量供給された住宅が改修時期を迎え、ライフスタイルも変化する中では、潜在的リフォーム需要は依然として大きく、この需要の顕在化が大きなチャンスであると考えております。

今後当社の持つ強みである「人造大理石」技術に加え「塗装」や「機能」の技術を生かし、ヤマハリビングテックでしか出来ない感性価値も加えた、お客様の要望に真に応える商品を提供することで、リフォーム需要を顕在化し、「お客様の創造」が可能になると存じます。

また、新たな枠組みの中でこれまで以上の競争力確保と成長に向けて、引き続き構造改革を進め、ヤマハリビング商品が未永くご愛顧頂けるよう努めて参ります。

お取引先様には多大なご心配をお掛けしたと存じておりますが、今回の内容につきましてご賢察の上、今後ともヤマハリビング商品のご拡販に向けご支援、ご愛顧を賜りたくお願い申し上げます。

敬具